

(案)

委託相談支援事業所連絡会

第3次障がい者計画等進捗状況 令和5年3月

(ページ数は第3次障がい者計画書中の記載箇所)

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更(※)	理由・根拠
相談支援体制の充実 相談員の質の向上	新規ケース・困難 ケースの共有 事例検討会の実施	P. 27 P. 30 P. 52 P. 53	毎月連絡会で実施 した。	連絡会の場で実施する ことで、出席する 相談支援専門員の多 様な意見を各々が参 考にすることができ 、相談支援の向上 に繋がる	終了・継続 → 同じ ・変更	一部構成(相談+委託)に し、相談支援事業所連絡会 で行っていく。
	基幹相談支援セン ター設立に向けて 準備	P. 29	連絡会の中で意見 交換を行った。	小牧市としての基幹 相談支援センター設 立に向けて、考え方 を確認することができ た。	終了・継続 → 同じ ・変更	市と受託予定の社協で、セン ター業務に係る詳細につ いて協議を続ける。その過 程で相談支援事業所に意見 を求めることも有り得る。
	特定相談支援事業 所のサポート、協 働	P. 52 P. 53	毎月連絡会で実施 した。個別では実 施しなかった。	連絡会の場で実施する ことで、出席する 相談支援専門員の多 様な意見を各々が参 考にすることができ 、相談支援の向上 に繋がる	終了・継続 → 同じ ・変更	次年度からは基幹相談支援 センターがこの役割を担う ことを想定している。
相談窓口の周知	関係機関での出前 講座等の実施	P. 32 P. 53	①9月5日実施 民生委員・児童委 員全29名参加 ②10月5日実施 民生委員・児童委 員全29名参加	①西部地区民協は一 昨年引き続き障害 福祉サービスの説明 を行った。 ②民生委員・児童委 員から受けた相談事 例を基に、相談支援 との繋ぎについての 講話を行った。	終了・継続 → 同じ ・変更	西部地区以外の民生委員・ 児童委員の方にも、周知し て頂けるよう、出前講座の 開催を継続する。

(案)

委託相談支援事業所連絡会

第3次障がい者計画等進捗状況 令和5年3月

(ページ数は第3次障がい者計画書中の記載箇所)

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更(※)	理由・根拠
障害者自立支援協議会の充実	各連絡会へのアドバイザー派遣	P. 53	委託相談支援事業所連絡会で担当を決め、各連絡会に出席している。	連絡会で取り組む内容について、相談員から提案することができている	終了・継続 → 同じ・変更	地域課題の抽出をもっと深めるため引き続き、委託相談支援事業所で担当していく。
精神障がい者等の地域移行への取り組み強化	保健・医療・福祉関係者との関係づくり、協議、連携	P. 27 P. 44	未実施	個別ケースの関わりの中で関係者との関係づくりはできている	終了・継続 → 同じ・変更	
	地域移行・地域定着のケースについての把握・意見交換	P. 27 P. 44	毎月連絡会で実施。	委託相談支援事業所連絡会にて、意見交換ができている。	終了・継続 → 同じ・変更	委託相談支援事業所連絡会で行っていたが、今後は、相談支援事業所連絡会でケースの共有を行っていく。

(※) 次年度も同じ内容で継続、または目的を変えず方法を変えるという意味で変更